

2024年度 福岡女子大学 研究奨励交付金C 出版助成

ウルリッヒ著、梅谷俊一郎・宮崎聖子(本学・国際文理学部)共編訳 2025.4

『ある助産婦の物語——マーサ・バラードの日記(1785-1812)から』

九州大学出版会 A5判・上製・476頁

原書 Laurel Thatcher Ulrich著 A MIDWIFE'S TALE : The Life of Martha Ballard,
Based on Her Diary, 1785-1812

米・歴史学者ウルリッヒの1991年ピューリッツァー賞受賞図書の翻訳書。

アメリカ開拓時代ニューイングランドの助産婦マーサ・バラード(1735-1812)が
残した日記と、新聞・統計・裁判記録・書簡等の膨大な資料とを分析し、

当時の医療や家庭生活・性風俗・地域経済・宗教的対立・政治的背景など

を再現する。女性史的視点から、妊娠や出産、薬草栽培・機織り・家事といった
記録に残りにくい女性たちの日常生活や、助産婦と男性医師の関係なども描
き出す。

日記は簡潔で淡々とした日々の記録だが、ウルリッヒの丹念な調査と分析によ
り、アメリカ初期の社会と、晩年まで天職をまっとうした女性の人生が描かれ
ている。マーサ・バラードはある意味、地域社会のリーダー的存在であり、彼
女の子孫たちもその素質を受け継いだ。

